

市イメージキャラクター



©Studio Ghibli  
こまちゃん

# 小金井 2015.2/1 No.442 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！  
あなたの想いを！  
見つけよう！ 僕・私！  
仲間へのメッセージを、  
この場所で！！

## 特集 184 magazine(いち・はち・よん) ～こがねいを再発見するフリースタイル・ペーパー～



184は、小金井の郵便番号です。

184magazine(いち・はち・よん)というフリーペーパーをご存知でしょうか？ 小金井の魅力をも市民目線で発信したいという思いで有志のメンバーがボランティアで制作し、市内各商店や公共施設で配布している冊子です。このフリーペーパーを制作している「184こがねい編集室」の編集会議が公民館で行われるのを聞きつけ、発行人の北池智一郎さんと編集・デザイン担当の安田桂子さんをはじめとするメンバーの方にお話を伺ってきました。

Q. 編集室設立のきっかけは何でしょうか？

A. 保育園の父母仲間だった北池さんと安田さんが発起人となって、2012年の夏頃から始動しました。小金井の地域情報を住民目線で発信したい、もっと関心を持ってほしいという思いからでした。

Q. メンバーはどのように増やしたのでしょうか？ また、現在のメンバーは何名いますか？

A. 最初は市報やポスターでメンバーを公募しました。その後は、口コミや友人の紹介などで広がり、現在は約20名です。様々な職業、年代の方が取材、制作から配布まで行っています。

### 184magazine(いち・はち・よん)

創刊：2013年1月 発行：不定期(年3回) 発行元：184こがねい編集室  
配布先：市民交流センター、図書館本館、公民館各館、市内のお店など  
HP：<http://184.jimdo.com/> お問い合わせ：184magazine@gmail.com

**メンバー募集中！**  
**協賛企業・団体・**  
**お店募集中！！**

次回発行  
(Vol.7)は  
春頃！

Q. 編集会議は、どのように行っているのですか？

A. 隔週の週末に各公民館を利用して行っています。メンバーが小金井市内に幅広く住んでいるので、意識して開催する公民館の場所も変えています。変えることで、市内の情報も広がり、新しい話題が見つかることもあります。

Q. 誌面づくりの苦労はありますか？

A. 皆さんが仕事を持ちながら関わっているので、会議等の日程調整が難しいです。広告や取材など、それぞれの立場で色々な苦労はあります。

Q. 今後の184magazineの展望は？

A. 特に大きな展望はないですが、市内の人たちが発信している情報を共有して、関わりや繋がりを増やしていきたい。メンバーそれぞれが、ボランティアの立場の中、様々なモチベーションでやっています。それを持ち寄って、楽しく、クオリティーのいいものを作っていきたいと思っています。



編集会議の様子  
子連れの方も多  
いそうです。

取材を終えて…

小金井生まれ小金井育ちの私としては、市民目線で地域の情報をフリーペーパーという手取りやすい形で発信してくれる姿とその思いに嬉しく感じました。無料とは思えないクオリティーの高さも魅力です。小金井って素敵なことがたくさんあるなと再発見できる冊子です。これらの誌面づくりも期待しています。(本町分館R)

## 成人学校

### 「アートフラワーで手作り小物」 緑分館

入学、卒業などセレモニーの季節、アートフラワーで手作りしたコサージュを身につけてみませんか？

作ったコサージュは、インテリアに活用します。

と き 2月19日、26日

いずれも、木曜日午前10時～正午（全2回）

ところ 公民館緑分館 学習室A

内容 ①アートフラワーでコサージュ作り  
②コサージュを活用したインテリアフラワー作り

講師 田辺貴優さん（フラワーデザイナー）

対象 市内在住・在勤・在学の2回連続して

参加できる方

参加費 2000円（各回材料費1000円）

定員 20人（申込順）

申込・問合せ 2月2日から、電話または直接公民館緑分館へ（☎042-387-7301）

## 市民講座

### 「中国を知る」 貫井北分館

現代中国の姿を、政治体制、国際経済、エネルギーというテーマから探ります。講義では豊富な図表やグラフ、中立的で客観的な分析を示し、時事問題への興味や関心を高め、日々の報道に対する理解を深めます。

と き・内容 下表のとおり

ところ 公民館貫井北分館 学習室A・B

講師 津田慶治さん（日本国際戦略問題研究所 所長）

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 60人（申込順）

申込・問合せ 2月2日から、電話または直接公民館貫井北分館へ（☎042-385-3401）

日時	内容
3/6(金)	中国の政治体制と日本の立場
3/13(金)	中国と世界の経済
3/20(金)	中国・世界のエネルギー状況

いずれも、午前10時～正午（全3回）

## 「月刊こうみんかん」

### 市民編集委員募集のお知らせ

公民館では、事業の企画や情報の発信を市民参加で実施しています。

毎月1日に発行している「月刊こうみんかん」の編集会議は、現在、市民編集委員3名、職員7名の10名で毎月第三火曜日のお昼から本館学習室で行っています。

●まちの話題を紙面づくりに反映して欲しい！

●インタビューや紙面づくりが好き！

●このまちのことが知りたい！



皆様の参加をお待ちしています。

## 成人大学講座

### 「武蔵野に育まれた近代文学」 本館

小金井市が位置する武蔵野地域は、歴史的に様々な文化が生まれ、文学作品のなかでも多くの作家によって取り上げられ、親しまれてきました。

本講座では、武蔵野地域にゆかりのある近代文学作品を取り上げ、幅広い市民の関心の高い文学の面から地域を見つめるとともに、わがまち小金井への愛着をより一層深めていただきたいと思います。

と き・内容 下表のとおり

ところ 東京学芸大学 S・410号室

講師 石井正己さん（東京学芸大学教授）

定員 200人（申込順）

※市内在住・在勤・在学180人、一般20人

申込 2月16日から、電話または直接公民館本館へ（☎042-383-1184）

日時	内容
3/17(火)	国木田独歩『武蔵野』
3/24(火)	大岡昇平『武蔵野夫人』
3/31(火)	村上 龍『限りなく透明に近いブルー』

いずれも、午後2時～4時（全3回）

## 「きたまちクラフトワークショップ」予告

### 貫井北分館

地域の芸術家が、地域の皆さんに贈るクラフトワークショップです。創作活動を通じて、地域で活動する先生や、作る楽しさを発見しましょう。野草画、フラワーアレンジメント、ビーズアクセサリ、絵画、デコパージュ、トールペイント、小物製作で自分だけの作品を作りませんか？

と き 3月8日(日) 午前10時～午後3時30分  
（各ワークショップごとの入れ替え制）

場所 公民館貫井北分館

申込 2月16日から3月1日まで（申込順）

※開始時間、募集人数、費用などは、参加するワークショップによって異なります。詳しくは2月15日の市報、公民館設置のチラシ、貫井北センターのホームページ「公民館」をご覧ください。

## ITサポートセンター しがねいパソコン相談室

ITサポートセンターしがねい運営協議会のボランティアスタッフの協力を得て、しがねいパソコン相談室を各公民館で開催しています。パソコンの操作で困っている方、インターネットやメールの仕方など、パソコンに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

開催時間 毎週日曜日と水曜日の午後1時～3時

※都合により開催できなくなる場合もありますので、事前に各公民館へお問い合わせください。

開催場所 公民館本館・貫井南分館・東分館・緑分館・貫井北分館

※本町分館は工事中の為、2月はお休みです。

費用 無料 対象 市内在住・在勤・在学の方

問合せ先 公民館本館（☎042-383-1184）

## 成人学校 報告 『伊勢物語』を味わう

本館

昨年12月1日から3回に渡って、成人学校『伊勢物語』を味わうの講座が開催されました。今回の講座では、山田ただし先生（奥の細道を読む会 講師）にお話をさせて頂きました。

講座の中では「伊勢物語」の概要を知り、二条の後(きさき)、東下り(あづまくだり)、伊勢の斎宮などを中心に学んでいきました。また、先生に伊勢物語を源氏物語との関わりを通じて、深く考察して頂きました。

山田先生は元々、高校の教諭であり、古典全般に精通されていらっしゃいましたので、様々な観点から興味深いお話を聞くことができました。



### 受講生の感想

- 古典を学ぶのに一斉に朗読するのは大変ふさわしく思われます。山田先生のソフトな講義は久しぶりの古典授業を、大変楽しいものにして下さいました。時折は読み返してみたいと思われました。よい企画を立てて頂き感謝申し上げます。
- 「伊勢物語」だけでなく、内容豊富な知識を持っておられる講師に感謝致します。
- 講座を受けて日本語の奥の深さを初めて知りました。又、題材の合間の先生の小話がとても面白かったです。緊張をほぐして下さった先生の心の豊かさを感じました。又、機会があったら聴講したいと思っています。
- 大変聞き取りやすい話し方でメモも取りやすく、良い時間を過ごせました。次回の講座の機会があれば是非申し込みたい。

### 月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集!

#### ● 「心に残った一冊・名画・音楽」

あなたのおきのお薦めを思い出や感想と共に掲載してみませんか?

#### ● 「世界の中の小金井」

海外出身の皆さんが住んでみてわかった小金井の魅力や、母国の魅力を教えてください。

#### ● 「地域を歩く」「野川の野草」

月刊こうみんかん・公民館主催事業への感想もお待ちしております。

問合先 公民館本館

(〒184-0012 小金井市中町4-15-14)

☎042-383-1184 FAX042-387-1226

✉k020499@koganei-shi.jp



## 陶芸入門教室 報告

緑分館

公民館緑分館毎年恒例の陶芸入門教室が本年度も9月から12月の約3ヶ月の日程で開催いたしました。

受講生も最初は思い通りの形にできず、四苦八苦していました。けれども、講座が終わるころには皆さん個性的で見事な作品を作り上げていました。



### 受講生の感想

- 楽しかったです。毎回あたふたしました。
- 最初は長いかないと感じていましたが、実際は時間が足りないくらいでした。出来上がりは、ワクワクとしてとても満足です。
- 初めてでしたが、陶芸のファンになりました。
- 陶芸の工程を一通り体験してみたかったので大変楽しかったです。満足しています。

## 成人学校 報告

### 「もの忘れを楽しもう」

緑分館

普段何気ない生活の中で、日々悩み、健康を気遣い、笑うことの楽しさを忘れていませんか? を主題に、健康で明るい生活、人とのかかわりを経験し笑顔を取り戻し、一年を締めくくる講座を実施しました。

日本笑いヨガ協会の講師陣（代表の高田さん、指導員の成島さん）と、新進の落語家柳家花いちさんをお迎えし、受講者26名の方々が3日間に渡り、身体を動かし、笑い、伝統芸能の落語を聴いて笑いとふれあいを楽しみました。

日本笑いヨガ協会さんは、免疫力をアップ、血圧を下げる、笑うと遺伝子の作用で血糖値の上昇が抑えられる。「面白くなければ笑えない」という人も多いかも知れませんが、笑う動作を体操に生かした健康法として日本全国で講演をされています。

柳家花いちさんは、受講者にとってはお孫さんのような存在ながら、2つ目に昇進されるまでの苦労話や落語家を目指したきっかけを含め、伝統芸能を披露してくれました。



## ◆ 2月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
☆市民映画会 「最高の人生の見つけ方」 市報 2月1日号に詳細	トイレ改修工事 のため、休館  2月28日まで				「きたまちクラフトワークショップ」 「きたまちリズムダンス講座」 ☆市民講座 「認知症を理解する」 市報 2月15日号に詳細

### 地域防災を考えよう

#### 前原四丁目町会

平成26年度「まちづくり講座」に講師として、11月5日公民館本館で「地域防災コミュニティーづくり～共助の心が生きていますか?～」というテーマで話をする機会を得る事が出来ました。私ども町会は東日本大震災をきっかけに、防災会の在り方についての経緯、問題点、行動等についての検討を行って来ました。その過程に於いて大きなテーマとして取り組んだ課題は

(1) 防災会という組織が既に作られており、それなりの活動を行ってきたが、実際の災害が発生した時にその知識が町会全体に対して、活動出来る状態になっていなかった事。

(2) 防災会の組織規約には、災害時に行うべき事が定めてありますが、それだけでは具体的な行動を起こす事が出来ない状況であった事。行動を起こすためには具体的な行動指針が必要なのです。良い例が一番大切な本部を立ち上げる為の条案(例えば震度5以上)すら決めてありません。

(3) すべき業務の責任者は決めてあっても、災害が発生した時に、その現場で対応する人達を決めてありません。役員では現場は対応できません。それぞれの現場で行動する人達が必要なのです。それには町会員の協力が在ってこそ出来るのです。即ち共助の精神を生かす必要があった事。

(4) 災害が発生したときの具体的な行動としては、被害状況の把握、情報の収集、消火活動、救出救護、避難誘導などに対応しなければなりません。そのためにはそれぞれの業務に対するマニュアルが必要となりますが、それらも整備されていなかった事などがありました。

以上、述べた諸問題に対する組織づくりが必要な事と、それに見合った各部署の行動マニュアルを作る必要があります。そのベースには町会員の共助の精神を生かす事、即ち本部と行動を共にする事が大切です。

それらを踏まえて検討をしてきました私どもの防災会の基本となる、災害時行動マニュアル(抜粋版)を中心に報告を致しました。前原四丁目自主防災会 保科 繁 ●前原四丁目町会は平成26年度に東京都から「東京防災隣組」に認定されました。

### 第498回 市民映画会

#### 「最高の人生の見つけ方」

(2007年、ロブ・ライナー、97分)



余命6ヶ月を宣告された二人の男(ジャック・ニコルソン、モーガン・フリーマン)が、死ぬ前にやり残したことを実現するために二人で冒険に出るハートフル・ストーリー。

と き 2月21日(土)  
① 午前10時30分(吹替)  
② 午後3時30分(字幕)

ところ 公民館貫井北分館学習室A B

入 場 無料  
当日直接会場で先着70人  
いずれも30分前開場

問合先 公民館本館 ☎042-383-1184

#### ～公民館本町分館 一時休館のお知らせ～

2月28日(土)まで、公民館本町分館はトイレ等改修工事により、一時休館しています。

詳細につきましては、公民館本町分館(☎042-383-1170)までお問い合わせください。

